

調査票 1

都道府県・ 政令指定都市名	46 鹿児島県
------------------	---------

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する組織

局 部 課 (室) 名	総務部県民生活局 青少年男女共同参画課 男女共同参画室
担 当 職 員 数	5 人 (専任 5 人、兼任 人)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	鹿児島県男女共同参画推進本部
設 置 年 月 日 ・ 根 拠	平成 11 年 4 月 1 日 根拠: 鹿児島県男女共同参画推進本部設置要
長 の 役 職	副知事

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

会 議 の 名 称	鹿児島県男女共同参画審議会
設 置 年 月 日	平成 14 年 1 月 1 日
構 成 員	20 人 (女性 11 人、男性 9 人)

4 男女共同参画に関する計画

計画期間	平成 25 年 5 月 ~ 30 年 3 月			
名 称	第2次鹿児島県男女共同参画基本計画			
改定・見直しの予定時期	平成 30 年 4 月 1 日		― 未定の場合は○をつけてください。	
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（以下「女性活躍推進法」という。）の推進計画と一体である		※いずれか1つに○をつけてください。		
女性活動推進法の推進計画と別に作成	○			

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	鹿児島県男女共同参画推進条例
	公 布 日	平成 13 年 12 月 21 日
	施 行 日	平成 14 年 1 月 1 日
	最 終 改 正 日	平成 年 月 日
	改 正 内 容	※改正無し
無の場合 ※ どちらかに○を つけてください。	改正が予定されている場合、改正予定時期:	平成 年 月
	制定等について検討中(状況を具体的に)	
	特に検討していない	

調査時点コードを以下より選択してください

6 審議会等委員への女性の登用		1:平成29年4月1日		2:平成29年5月1日		3:その他: 平成29年3月31日	
	目標値	平成 29 年度まで 40 %		平成 年度まで %			
	根 拠	第2次鹿児島県男女共同参画基本計画					
目標設定の対象である審議会等の範囲		法律, 制令, 条例, 要綱, 要領等により設置されている審議会					
目標設定の対象である審議会等における登用状況		調査時点コード	3	審議会等数(85)うち女性委員を含む審議会等数(83)			
		延総委員等数(1,612)延女性委員等数(615) 女性比率(38.2)					
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況		調査時点コード	3	審議会等数(67)うち女性委員を含む審議会等数(66)			
		延総委員等数(1,325)延女性委員等数(514) 女性比率(38.8)					
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(*)		調査時点コード	3	審議会等数(36)うち女性委員を含む審議会等数(35)			
		延総委員等数(895)延女性委員等数(314) 女性比率(35.1)					
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況		調査時点コード	1	審議会等数(9)うち女性委員を含む審議会等数(7)			
		延総委員等数(85)延女性委員等数(12) 女性比率(14.1)					
目標値以外の目標設定		職指定を除く委員における女性委員の登用率:平成28年7月までに50%					
女性 登用 方 策	人材名簿作成の有無	有 (公表 ・非公表) ・無 ○ 作成予定有					
	人材名簿が有る場合	掲載人数	人	(平成 年 月現在)			
	そ の 他	人材育成事業の実施の有無 有 ・無 ○					
		委員の公募 有 ○ ・無					
		そ の 他 (「女性委員等活用促進要領」に基づく取組)					

注(*) 平成29年3月時点で法律又は政令により設置義務がある審議会等のうち内閣府が把握したもの
(参照:別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

7 女性公務員の採用・登用状況

調査時点コードを以下より選択してください

(1)-1管理職の在職状況							1:平成29年4月1日			その他: 平成 年 月 日			
		管理職総数(※)			女 性 管 理 職 の 内 訳								
		(人) (A)=(C+E+G)	うち女性 管理職数 (人) (B)=(D+F+H)	女性比率 (%) (B/A)	部局長相当職			次長相当職			課長相当職		
					(人) (C)	うち女性 数(D)	女性比 率 (E)	(人) (E)	うち女性 数(F)	女性比 率 (G)	(人) (G)	うち女性 数(H)	女性比率 (I)
本 庁	計	261	14	5.4	18	1	5.6	39	1	2.6	204	12	5.9
	うち一般行政職	152	11	7.2	16	1	6.3	19	1	5.3	117	9	7.7
支庁・地方事 務所等	計	359	27	7.5	16	0	0.0	56	1	1.8	287	26	9.1
	うち一般行政職	148	11	7.4	10	0	0.0	23	1	4.3	115	10	8.7
全 体	計	620	41	6.6	34	1	2.9	95	2	2.1	491	38	7.7
	うち一般行政職	300	22	7.3	26	1	3.8	42	2	4.8	232	19	8.2
再掲	警察関係	75	1	1.3	0	0		6	0	0.0	69	1	1.4
	教育委員会	52	5	9.6	0	0		2	0	0.0	50	5	10.0

注(※) 管理職総数の欄は自動計算されますので入力しないでください。

(1)-2職務上の地位別職員在職状況

調査時点コードを以下より選択してください

		1:平成29年4月1日			その他: 平成 年 月 日		
		課長補佐 相当職 (人)	うち女性 数 (人)	女性比率	係長相当職 (人)	うち女性 数 (人)	女性比 率
本庁	計	632	58	9.2	1,397	345	24.7
	うち一般行政職	371	43	11.6	721	279	38.7
支庁・地方事 務所等	計	814	62	7.6	2,509	549	21.9
	うち一般行政職	271	22	8.1	718	204	28.4
全体	計	1,446	120	8.3	3,906	894	22.9
	うち一般行政職	642	65	10.1	1,439	483	33.6
再掲	警察関係	299	8	2.7	874	76	8.7
	教育委員会	108	7	6.5	348	74	21.3

(1)-3新規昇任者数

平成28年4月1日～29年3月31日

		課長相当職 (人)	うち女性 数 (人)	女性比率	課長補佐 相当職 (人)	うち女性 数(人)	女性比 率	係長相当職 (人)	うち女性 数(人)	女性比 率
本庁	計	39	4	10.3	74	10	13.5	62	16	25.8
	うち一般行政職	17	3	17.6	47	8	17.0	29	12	41.4
支庁・地方事 務所等	計	78	5	6.4	105	4	3.8	107	24	22.4
	うち一般行政職	34	2	5.9	30	1	3.3	29	8	27.6
全体	計	117	9	7.7	179	14	7.8	169	40	23.7
	うち一般行政職	51	5	9.8	77	9	11.7	58	20	34.5
再掲	警察関係	21	0	0.0	43	1	2.3	88	15	17.0
	教育委員会	11	0	0.0	24	2	8.3	7	1	14.3

(1)-4昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

考慮要素としている事項すべてに○を記入してください。

	勤務 成績	昇任試験		昇格試験		部局等の 推薦	経年 数	遠隔地での 長期 研修(4 週間以上)	遠隔地での 勤務経験	本人の希望	その他(具体的にご記入ください)
		面接のみ	それ以外	面接のみ	それ以外						
課長級	○		○			○	◎			○	昇任試験(それ以外)、本人の希望 ⇒ 県警のみ該当 部局等の推薦 ⇒ 知事部・病院局が該当、教育・県警は非該当 経年数 ⇒ 知事部・県警は◎、病院局・教育は○
補佐級	○		○			○	◎			○	昇任試験(それ以外)、本人の希望 ⇒ 県警のみ該当 部局等の推薦 ⇒ 知事部・病院局が該当、教育・県警は非該当 経年数 ⇒ 知事部・県警は◎、病院局・教育は○
係長級	○		○			○	◎			○	昇任試験(それ以外)、本人の希望 ⇒ 県警のみ該当 部局等の推薦 ⇒ 病院局が該当、知事部・教育・県警は非該当 経年数 ⇒ 知事部・県警は◎、病院局・教育は○

(1)-5昇任・昇格試験の受験者数

平成28年4月1日～29年3月31日

	全受験者 数(人)	女性受験 者数(人)	女性受 験率 (%)
昇任試験	1,679	44	2.6
昇格試験	0	0	

(2)女性公務員の採用状況

平成28年4月1日～29年3月31日

	総数 (人)	うち女性 数(人)	女性比率 (%)
全体	405	134	33.1
うち上級	226	68	30.1
うち一般行政職	104	43	41.3
うち上級	51	19	37.3
うち警察関係	178	42	23.6
うち上級	88	20	22.7

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

※複数の施設がある場合、2件目以降は、次のシート(調査票1(2))に記載してください。

名 称	鹿児島県男女共同参画センター	愛称・通称	
設置年月日	平成 15 年 4 月 22 日	施設形態	単独施設 ○ 複合施設
所在地等	郵便番号：892-0816 住 所：鹿児島県鹿児島市山下町14-50 電話番号：099-221-6603 FAX番号：099-221-6640 ホームページ：http://www.kagoshima-pac.jp/functions/man_and_woman/		
管理・運営主体 ※1～2について、該当するものに○をつけ、記入してください。	1. 施設管理 ○ 直営(担当部局名：鹿児島県県民生活局) 指定管理者(名称：) その他() 2. 事業運営 ○ 直営(担当部局名：鹿児島県県民生活局) 指定管理者(名称：) その他()		
職 員 数	常勤 人、 非常勤 人	予算額	平成29年度 千円
主な事業 〔男女共同参画・女性に関するもの〕	*実施しているものに○を付し、主な事項を記入してください。 ○ 1. 広報啓発(主な事項)) ○ 2. 講座(主な事項：) ○ 3. 相談事業(主な事項) ○ 4. 情報収集・提供(主な事項：) 5. 苦情処理(主な事項) ○ 6. 交流促進(主な事項) ○ 7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ(主な事項：) 8. 国際交流・海外派遣事業(主な事項：) 9. 調査研究(主な事項) 10. その他(主な事項：)		

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称				基金・基本財産額	千円
設置年月日	平成	年	月	日	出資者

10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)とのネットワーク

各種女性団体連絡協議会等の有無	○ 有 無	名称等：鹿児島県女性団体連絡協議会	加盟団体数	14
			会 員 数	延べ37万人
地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	有 ○ 無			
活 動 内 容 ※実施しているものに ○をつけてください。	1. 定例会議(情報交換会等)の開催 2. 機関誌の発行 3. 広報啓発パンフレット作成 ○ 4. その他 { 内容：鹿児島県女性大会の開催			

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するものに○をつけてください。

- 1. 担当者連絡会議の開催
- 2. 市町村職員研修会の開催
- 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催
- 4. 関係情報の収集提供
- 5. 審議会等女性登用の働きかけ
- 6. 補助金等の交付 名 称 : _____)
- 概 要 : _____)
- 7. その他 (内 容 : _____)

12 職員研修の実績状況 ※実施しているものに○をつけてください。

(1) 男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

- 1. 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等を実施
- 2. 一般職員研修に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ
 - 3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣
 - 4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施

(2) 女性職員の研修受講への配慮

○ 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施
2. 研修受講職員男女比を配慮
3. その他 { 内容: }

13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	28年度予算 (千円)	29年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	29,337	29,972	
上記関係予算が一般会計予算総額に占める割合	0.00357 %	0.00370 %	
男女共同参画・女性のための施設整備費	0	0	

14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況 ※該当するものに○をつけてください。

項目の設定	国の取組に準じた設定
1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	
3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	
4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定(○の場合は(1)～(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	○
(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	
(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	○
(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	
(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
(5) その他(内容:)	

↓ 上記1～4で「○」の場合は、下記の「具体的項目」で該当する項目欄に○を付けてください。

1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入などの競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等の項目の設定
① 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用促進法」という。)に基づく「ユースエール」認定を取得			
② 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)			
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○		○
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得			
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目			
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目			
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)			
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)	○		○
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組			
⑩ 短時間正社員制度の導入			
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組			
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①～④を除く)			
⑬ その他			

15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
実施の有無	○ ○
1 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得	○
2 女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○
3 役員に占める女性割合に関する項目	○
4 管理職に占める女性割合に関する項目	○
5 役員や管理職への女性の登用促進のための取組	○
6 その他「登用促進等」に関する項目	○
7 仕事と育児・介護を両立するための取組	○
8 ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組	○
9 短時間正社員制度の導入	○
10 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組	○
11 ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)	○
12 その他	○

→ 「企業の登録・認定・認証制度」有りの場合、具体的名称: 鹿児島女性活躍推進宣言企業制度、
「育児の日」協力企業の登録、かごしま子育て応援登録企業制度

→ 「企業の表彰制度」有りの場合、具体的名称: 鹿児島女性活躍推進優良企業知事表彰(1,2,4,5,7,8)

※具体的名称の後に()を付し、当該()の中に該当する選定等の基準番号を記入してください[例→●●表彰(1)、△△表彰(8、10)など]

16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 ある	○	→	女性活躍推進法第23条の「協議会」に該当する場合、その具体的名称	鹿児島県女性活躍推進会議
2 現在はないが、今後検討する			その他の場合、その具体的名称	

17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	○ 有 無	名 称	かごしま男女共同参画の状況
公表周期		1 年	不定期
公表主体 ※該当するものに○をつけてください。	○	1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室)	
		2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室)	
		3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者	
		4. その他	)

18 平成29年度実施予定事業

※該当する予定事業がない場合は、記入欄に記入しないでください。

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発 ・ 県男女共同参画週間事業 ・ 若年層に対する意識啓発 ※ ・ 若者による暴力未然防止の活動支援 ・ 子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業 ※ ※ ・ DV防止及び及び被害者支援のためのアドバイザー派遣 ※ ・ 情報誌の発行 ・ DV防止等の広報啓発・相談窓口カードの活用等 ・ 男女共同参画啓発資料の配付 ・ DV支援関係者向けリーフレットの配布	講演会やワークショップ等の開催 学校への男女共同参画お届けセミナーの開催 (男女共同参画・デートDV防止等について) 県内大学生自主グループによるワークショップ等の開催 児童生徒を対象としたワークショップや教職員・保護者・地域住民を対象としたセミナー等の開催、教職員を対象としたワークショップ実践者養講座の開催 配偶者暴力相談支援センター、市町村、民間団体等が実施する研修等へのアドバイザー派遣 「男女共同参画センターだより」の発行 相談窓口カードの配布 第2次鹿児島県男女共同参画基本計画(概要版) 行政担当者、学校関係者、民生委員・児童委員、医療関係者向け	高等学校等15校 小・中学校12校 5団体	6～12月 7～12月 9～2月
2. 表彰 ・ 鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰 ・	女性活躍に積極的に取り組む企業を表彰	3企業程度	9月
3. 講座 ・ 男女共同参画基礎講座 ※ ・ 男性のための男女共同参画セミナー ※ ・ DV相談員養成講座 ・ 相談業務研修会 ※ ・ 暴力被害者支援セミナー ※ ・ いきいきと働く女性応援事業 ※ ※	男女共同参画の推進に必要な基礎知識と手法を学ぶ講座の開催 男性の男女共同参画への正しい理解や固定的性的役割分担意識の気づきと解消を目指したセミナー DV相談に必要な専門的知識とスキルを有した人材育成の講座 相談業務に係る相談員・担当者等を対象とした、DV被害者支援に必要な知識の習得や相談対応のスキルアップを図るための研修会の開催 DVや性暴力の本質を理解し、被害者支援に必要な対応について学ぶセミナー 女性活躍推進企業トップセミナー、管理職マネジメントセミナー キャリアデザインセミナー、ロールモデル提供セミナー、生活と仕事の両立に向けたセミナー、女子学生のためのエンパワメントセミナー	3地区 190人程度 20人程度 110人	6～7月、 9月、10 1月又は 2月頃 2月頃 6月 11月 8～2月
4. 相談事業 ・ 一般相談 ・ 専門相談 女性のための法律相談 メンタルヘルス相談 男性相談 ・ 「女性のための法律110番」 ※ ・ 若者を対象とした相談窓口「ぴあ・すてーしょん」 ※	男女共同参画相談員による一般相談(電話・面接) ※ 女性弁護士による法律相談(第1・3火曜日) 精神科医師による相談 男性相談員による相談(第2土曜日) 「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として実施 県弁護士会と共催で実施、女性弁護士対応 鹿児島大学医学部保健学科ボランティアサークルとの共催により実施(毎月第3土曜日)		11月
5. 情報収集・提供 ・ 図書、ビデオ、パネル展示 ・	男女共同参画に関する図書等の整備・貸出、パネルの展示		
6. 苦情処理 ・ 男女共同参画に関する県の施策についての申出処理 ※	男女共同参画の推進に関する施策又は男女共同参画に影響を及ぼすと認められる施策について県民から申出を受ける		
7. 交流促進 ・ 民間団体との情報交換会	男女共同参画センター事業への協働・連携団体との意見交換等		3月
8. 企業・NPO法人との連携・働きかけ ・ 女性に対する暴力防止キャンペーン ※ 9. 国際交流・海外派遣事業	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、民間団体、関係機関と連携 該当キャンペーンを実施		11月
10. 調査研究			
11. その他			

※ 事業内容が1行に入力できなかったために改行したもの

19 都道府県議会の議員の両立支援体制に関する調査

※該当する時点の番号に○をつけてください。

1:平成29年4月1日

その他:平成 年 月 日

議 会 名	鹿児島県議会	
問1. 議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休を含む)がありますか。1～3のいずれか一つを選択してください。	1.欠席事由として明記した規定がある。 2.欠席事由として明記した規定はないが、運用上出産に伴う欠席を正当な欠席事由と認めている。 3. その他(欠席の例がない、不明等)	1
問2. 問1. で、1を選択した場合にお伺いします。 「欠席事由として明記した規定」とは、どのような規定ですか。1～3のうちいずれか一つを選択してください。 ※標準会議規則については下記を参照してください ※標準会議規則と、全く同じでなくても、条文の構造が同じであれば「同様」を選択してください。	1.標準都道府県議会会議規則と同様。 2.標準市議会会議規則又は、標準町村議会会議規則と同様。 3.その他	1
【参考】 標準都道府県議会会議規則 第二条 議員は、公務、疾病、出産その他の事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 標準市議会会議規則 第2条 ② 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。 標準町村議会会議規則 第二条 2 議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。		
問3. 議会の欠席事由として、議員の仕事と生活の両立の観点からの事由(例:配偶者の出産、育児、介護等)を明記した規定はありますか。以下の事由について1～3のいずれか一つを選択してください。		
	1 明記した規定があり、正当な欠席事由として認めている。 2 明記した規定はないが、運用上で正当な欠席事由と認めている。 3 その他	
配偶者の出産	2	
育児	2	
家族の看護	2	
家族の介護	2	
疾病	1	
その他 (具体的に事由を記載してください)	1 事例はないが、「その他」の理由で欠席を認める規定がある	
問4. 問3で1(明記した規定あり)を選択した場合にお伺いします。当該規定(規則、条例等)の該当部分の規定を記入(または別添)してください。 ↓ ※ 条 項 号まで記入してください。		
規 則 名	鹿児島県議会会議規則	
該当部分の条文(本文)を記入(または別添)してください。		
(欠席の届出) 第2条 議員は、公務、疾病、出産その他の事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。		

調査票2

都道府県名

46 鹿児島県

以下のデータの調査時点をお答えください。(該当する時点に○をつけ、その他の場合は調査年月日も記入してください。)

平成29年4月1日現在

平成29年5月1日現在

その他：平成29年3月31日現在

○

1 都道府県における首長等の状況 ※在任期間(任期)は予定を記入してください。

知事 ※該当する方に○をつけてください	女性 ○ 男性 任期:平成 28 年 7 月 28 日 ~ 平成 32 年 7 月 # 日
副知事	2 人 (女性 1 人、男性 1 人)

2 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

*平成29年4月1日現在で設置義務のある審議会等のうち、29年3月に内閣府が把握したものを掲載しています。

変更・廃止等がある場合は、該当する審議会等の備考欄にその旨記入してください。また、新たに追加された審議会等がある場合には、48以下の空白行に記入してください。

	審議会等名 (現在設置していないもの、審議会委員の任命を行っていないものには番号の前の欄に×を記入してください)	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
	1 都道府県防災会議(会長を含む)	62	6	9.7	
	都道府県防災会議(委員のみ)	61	6	9.8	
	内 1号 当該都道府県の区域の全部又は一部を管轄する指定地方行政機関の長又はその指名する職員	16	0	0.0	
	2号 当該都道府県を管轄区域とする陸上自衛隊の方面総監又はその指名する部隊若しくは機関の長	1	0	0.0	
	3号 当該都道府県教育委員会の教育長	1	0	0.0	
	4号 警視総監又は当該都道府県の道府県警察本部長	1	0	0.0	
	5号 当該都道府県の知事がその部内の職員のうちから指名する者	14	2	14.3	
	6号 当該都道府県の区域内の市町村の市町村長及び消防機関の長のうちから当該都道府県の知事が任命する者	4	0	0.0	
	7号 当該都道府県の地域において業務を行う指定公共機関又は指定地方公共機関の役員又は職員のうちから当該都道府県の知事が任命する者	20	1	5.0	
	8号 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうち当該都道府県の知事が任命する者	4	3	75.0	
	2 国土利用計画地方審議会	19	7	36.8	
	3 土地利用審査会	7	3	42.9	
	4 都道府県交通安全対策会議	18	2	11.1	
×	5 自然環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 自然環境保全審議会) ※6の審議会と統合している場合は6に人数を記入。当欄は空欄とし、備考欄に「6と統合」と記入する。				
	6 環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 環境審議会)	42	18	42.9	
	7 精神医療審査会	25	9	36.0	
×	8 都道府県生活衛生適正化審議会				
	9 都道府県医療審査会	20	4	20.0	
	10 准看護師試験委員会	15	7	46.7	
	11 麻薬中毒審査会	5	3	60.0	
	12 地方社会福祉審議会	39	16	41.0	
	13 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	19	9	47.4	
	14 国民健康保険審査会	9	5	55.6	
	15 都道府県農業共済保険審査会	10	3	30.0	
	16 都道府県森林審議会	12	4	33.3	
	17 都道府県建設工事紛争審査会	9	4	44.4	
	18 建築審査会	7	3	42.9	
	19 都道府県建築士審査会	7	3	42.9	
	20 都道府県都市計画審議会	16	5	31.3	
	21 開発審査会	7	4	57.1	
	22 私立学校審議会	12	4	33.3	
	23 石油コンビナート等防災本部	33	1	3.0	
	24 公害健康被害認定審査会	7	0	0.0	
×	25 窒素酸化物総量削減計画又は粒子状物質総量削減計画に定められるべき事項について調査審議する協議会(旧 総量削減計画策定協議会)				
×	26 都道府県児童福祉審議会				
	27 地方港湾審議会	23	8	34.8	
×	28 土地区画整理審議会				
	29 教科用図書選定審議会	20	9	45.0	
	30 介護保険審査会	27	11	40.7	
	31 都道府県固定資産評価審議会	11	5	45.5	
	32 感染症の診査に関する協議会	34	12	35.3	
	33 警察署協議会	257	122	47.5	
	34 土地収用事業認定審議会	5	3	60.0	
	35 住民基本台帳法 本人確認情報の保護に関する審議会	5	2	40.0	
	36 国民保護協議会	50	4	8.0	
×	37 地方独立行政法人評価委員会				
×	38 市街地再開発審査会				
×	39 都道府県職員委員会				
×	40 自然再生協議会				
	41 審議会その他の合議制の機関(※公益認定等)	5	2	40.0	
	42 後期高齢者医療審査会	9	4	44.4	
×	43 留置施設視察委員会				
×	44 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の協議並びに実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整を行うための協議会				
	45 指定難病審査会	26	3	11.5	
	46 小児慢性特定疾病審査会	7	2	28.6	
	47 行政不服審査会	5	2	40.0	
	48 国民健康保険運営協議会	11	5	45.5	
	49				
	50				
	51				
	合 計	895	314	35.1	
	女性委員0の審議会数	1			

3 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数

	委 員 会 等 名	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
1	教育委員会	5	2	40.0	
2	選挙管理委員会	4	1	25.0	
3	人事委員会	3	1	33.3	
4	監査委員	3	0	0.0	通常4名体制 H29.1 代表監査委員退職 H29.3.31現在 3名体
5	公安委員会	3	0	0.0	
6	都道府県労働委員会	15	2	13.3	
7	収用委員会	7	1	14.3	
8	海区漁業調整委員会	35	3	8.6	
9	内水面漁場管理委員会	10	2	20.0	
	合 計	85	12	14.1	
	女性委員0の委員会数	2			